

第1号様式（第3条関係）その1

産業廃棄物収集運搬業実績報告書（令和5年度）

（特別管理産業廃棄物を除く。）

令和 6 年 6 月 25 日

東京都知事 殿

【報告者】

住 所 東京都足立区西伊興一丁目6番28号

氏 名 東武清掃株式会社 代表取締役社長 津島 英世

（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

電話番号 03（3899）2004

運搬実績 ① 東京都内(八王子市除く。)⇒ 東京都内(八王子市除く。) ② 東京都内(八王子市除く。)⇒ 他道府県又は八王子市 ③ 他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く。)	左記①～③のいずれかの実績 あり なし	許可番号	1 3 — 1 0 — 0 3 3 3 4 0
		担当者電話番号	0 3 （ 3 8 9 9 ） 2 0 0 4
担当者氏名	栗原 恵里		

産業廃棄物の収集運搬受託量 ※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種 類	数量 【 単位：トン(t)/年 】							コード	種 類	数量 【 単位：トン(t)/年 】								
		百 万	十 万	千	百	十	一	小数 点 以下6桁			百 万	十 万	千	百	十	一	小数 点 以下6桁		
0100	燃え殻							●		1300	紙くず							●	
0200	汚泥				1	0	8	●	580000	1400	木くず							●	
0300	廃油							●		1500	繊維くず							●	
0400	廃酸							●		1600	動植物性残さ							●	
0500	廃アルカリ							●		1700	動物系固形不要物							●	
0600	廃プラスチック類				1	5	9	●	700000	1800	動物のふん尿							●	
0700	ゴムくず							●		1900	動物の死体							●	
0800	金属くず					3	8	●	952000	2000	産業廃棄物を処分するために処理したもの							●	
0900	ガラス・コンクリート・陶磁器くず						6	●	418000	5000	石綿含有産業廃棄物							●	
1000	鉱さい							●		6100	水銀含有ばいじん等							●	
1100	がれき類（建設廃材のコンクリートを含む。）							●	500000	6200	水銀使用製品産業廃棄物							●	
1200	ばいじん							●		合 計					3	1	4	●	150000

注1： がれき類などに該当するものであっても、石綿を含有する場合は「5000 石綿含有産業廃棄物」に分類してください。（0100～2000のコードに計上しないください。）

注2： 金属くず、廃プラスチック類、汚泥などに該当するものであっても、「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」とmanifestに記載されている場合は、「6100 水銀含有ばいじん等」、「6200 水銀使用製品産業廃棄物」に分類してください。（0100～2000のコードに計上しないください。）

注3： 「m³」「kg」は、「t」に換算し記入してください。

事 業 者 名	東武清掃株式会社	1 3 -	1 0	-	0 3 3 3 4 0
---------	----------	-------	-----	---	-------------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	汚泥	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類の中から1つを記入してください。
コード	0200	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

[illegible]

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について				【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合							
車両の総台数	17	台	車両の最大積載量の総和	46.2	t	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。
コード	0600	⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

【A】収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの。
自社運搬分は下方【B】に記入)
※注1

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	万	千	百	十	一	小数点	少数点
									以下6桁
					1	5	9		700000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記してください。

.....

【B】自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	万	千	百	十	一	小数点	少数点
									以下6桁

運搬量合計
【A】+【B】

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	万	千	百	十	一	小数点	少数点
									以下6桁
					1	5	9		700000

都道府県又は八王子市

発生地別の
収集運搬
受託量

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は「t」に換算

百	十	万	万	千	百	十	一	小数点	少数点
									以下6桁
					1	3	9		230000

東京都
(八王子市を除く。)
※注2

八王子市
※注2

埼玉県

千葉県

神奈川県

茨城県

栃木県

群馬県

合 計

運搬先の都道府県又は八王子市

中間処理業者へ運搬したもの

最終処分業者へ運搬したもの

積替保管施設へ
運搬したもの

再生・売却
※注3

【単位：トン(t)/年】
「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。

百	十	万	万	千	百	十	一	小数点	少数点
									以下6桁
					9	2			990000

東京都
(八王子市を除く。)
※注2

八王子市
※注2

埼玉県

千葉県

神奈川県

茨城県

栃木県

群馬県

合 計

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く。）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。 なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】	東京都へ申請している車両について	【記載例】	2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合
車両の総台数	17 台	車両の最大積載量の総和	46.2 t
車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

1 3 - 1 0 - 0 3 3 3 4 0

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
コード	0900

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

〔A〕収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。 自社運搬分は下方〔B〕に記入) ※注1									
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算									
百	十	万	万	千	百	十	一	小 数 点	少数点 以下6桁
								6	418000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記してください。

〔B〕自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)									
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算									
百	十	万	万	千	百	十	一	小 数 点	少数点 以下6桁

運搬量合計 〔A〕+〔B〕									
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算									
百	十	万	万	千	百	十	一	小 数 点	少数点 以下6桁
								6	418000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受 託 量									
	【 単位：トン(t)/年 】 「m」「kg」は「t」に換算									
	百 万	十 万	万	千	百	十	一	小 数 点	少数点 以下6桁	
東京都 (八王子市を除く。) ※注2							6	●	418000	
八王子市 ※注2								●		
埼玉県								●		
千葉県								●		
神奈川県								●		
茨城県								●		
栃木県								●		
群馬県								●		
								●		
								●		
								●		
合 計							6	●	418000	

運搬先の都道府県又は八王子市	中間処理業者へ運搬したもの										最終処分業者へ運搬したもの										積替保管施設へ運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など)										運搬先に○を記入											
	(破 碎) (																					

※注1：都内（八王子市を除く。）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く。)と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。 なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について										【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合									
車両の総台数					17 台					車両の最大積載量の総和					46.2 t				
車両の総台数					9 台					車両の最大積載量の総和					24 t				

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

